



## 泌尿器科学講座の共同研究成果に基づく特許取得について

当講座は、泌尿器科領域の癌の研究に取り組んでおり、主に、非侵襲的な検査・診断方法や治療方法に関する研究を、共同研究先と実施しています。これまでに得た研究成果は下記の通り特許が登録されております。

【特許番号】	特許第 5936181 号(国内)
【発明の名称】	膀胱癌の測定方法または癌治療後の予後の判定方法
【特許権者】	国立大学法人高知大学（薬剤部 / 泌尿器科学講座）

他のがんと同様に膀胱癌においても、早期発見が重要です。特に膀胱癌は、治療後早期に膀胱内再発を来すため、膀胱内再発を念頭に置いた定期的な検査が必要であり、患者にとって身体的、精神的、及び経済的負担が大きいことが問題です。膀胱癌の非侵襲的な検査・診断方法(膀胱癌スクリーニング)の確立が急務であるといえます。本特許は尿中の揮発性成分を指標として、被験者について癌、特に膀胱癌の罹患の有無を測定する方法、または癌患者、特に膀胱癌患者について癌治療後の予後を判定する方法について出願していたものです。

以上